

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



これからも総社を盛り上げていきます

**総**社は、総社圏域で事業を営む45歳以下の経営者らで構成されている団体です。若く情熱があり、広い視野をもった62人のメンバーで日々切磋しながらビジネスの腕を磨き、自社の発展を通じ地域社会に貢献しようとして励んでいます。

今年、総社商工会議所青年部は30周年を迎えます。これを記念して、11月29日(日)に記念事業、来年3月には記念式典を開催します。

記念事業では、これまで支援してくださっている地域社会に感謝の気持ちを込めて、「絆をつなぐ綱引き大会」を企画しました。企業と、市民、子どもたちに

チームで参加してもらい、交流を深めていただきます。綱引きのほかにも、おいしいグルメ、人気のフリーマーケットなど盛りだくさんです。

私たち青年部は総社圏域の企業がよりいっそう活性化し、社会の発展につなげられることを目指して今後もがんばってまいります。

11月29日の綱引き大会にふるってご参加ください。

(総社商工会議所青年部 会長 丸川 博之さん)

● **私**が初めて北の吉備路と出会って50年あまりになります。その間、鬼ノ城や岩屋、新山地域は大きく変貌してきました。

鬼城山は公有化と調査が行われ、一部を復元整備。北の吉備路一帯は環境省の力を借り、「総社ふるさと自然のみち」として30数キロにおよぶ遊歩道が整備されました。その結果、豊かな自然と素晴らしい景観、そして歴史ロマンを堪能できる「フィールドミュージ



北の吉備路の拠点施設「鬼城山ピクニックセンター」

「アム」として定着し、今では年間7万人余りの人でにぎわっています。

しかし一方で、里山環境の喪失、開発や多人数の往来などに伴う自然環境の劣化も否めません。特に鬼城山は人の出入りが多いためか、外来植物の繁茂が近年目立つようになりました。

このたび総社市が中心となつて、10月17日(土)に鬼城山での「外来植物一掃大行動」を呼び掛けていること(9ページに関連記事あり)を聞き、美しい自然景観を保ち守っていくうえから誠に時機を得た試みだと思えます。一人でも多くの参加を心から願っています。

(岡山県自然保護推進員 菅原 潤さん)

「そうじゃ消防署カレー」、「そうじゃセロリのミネストローネ」が当たる

**広報クイズ**

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q1 ゆるキャラグランプリ2015に参戦中の子育て王国そうじゃのアイドル「チュッピー」。9月10日現在の順位は、全国第●●位!!



【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」を2個、「そうじゃセロリのミネストローネ」1個をセットで贈ります。

【応募期限】 11月2日(月)  
【8月号の答え】 8月17日から11月16日まで  
【8月号の当選者】 宇野美千子さん(中原)、横田宣子さん(中原)

[応募総数 27件]  
【応募先】 総社市役所市政情報課 〒719-1192 中央一丁目1番1号 ☎ shisei@city.soja.okayama.jp

人口・世帯数 (平成27年9月1日現在)

人口 67,926人(前月比-2人)  
(うち外国人登録782人 前月比+1人)  
男 32,988人(前月比-13人)  
女 34,938人(前月比+11人)  
世帯数 25,934世帯(前月比+1世帯)

**市民憲章**

わたしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

1 郷土を大切に  
美しい環境をまもりましょう。

1 生涯学び  
明るい家庭をきずきましょう。

1 たがいに助け合い  
あたたかいまちをつくりましょう。

**市の花・木・鳥**

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ



ごみ量が増えています

**ごみ減量化にご協力ください**

燃やせばごみ、分ければ資源

**ごみ減量化の取り組み**

**総社市ごみ減量化推進団体報奨金**

●町内会、PTA、子ども会などの市民団体が自主的に実施する資源ごみの集団回収活動に対して、8円/kgの報奨金を交付しています。



新本小学校で行われた、資源ごみの集団回収活動

**生ごみ減量化への支援**

- ①EMボカシの無料配布
  - コンポストや専用バケツで使う「EMボカシ」を無料配布しています。生ごみに直接ボカシを振り掛けるだけで簡単に堆肥が出来ます。
  - ②生ごみ処理容器購入費補助金
  - 電気などで生ごみを減量するタイプの家庭用生ごみ処理容器を購入する際、金額の2分の1、上限2万円の範囲で補助します。
- ※平成27年4月1日以降に購入したものに限り

**生活用品交換銀行 (17ページに関連記事)**

●まだ使えるけど不要になった家具や家電を、必要としている人に譲り、再利用しています。

市では、平成22年10月に市指定ごみ袋の販売額を半額にしたことを機に、「変動相場制」を導入しました。おおむね3年間の家庭ごみ排出量を基に、ごみ袋の販売額を見直します。現在、市のごみ量は増加傾向にあり、このままでは来年度ごみ袋が値上がりします。

左に紹介しているような取り組みを有効に活用し、ごみ減量化にご協力ください。

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎083338)